

2022年 2月 新着図書



請求記号	書名	著者名	出版社	内容紹介
019 TO	未来のきみを変える読書術 なぜ本を読むのか?	苫野一徳 著	筑摩書房	なぜ大人は本を読めというのだろうか? 読書の効用から、読書の方法、レジュメ(読書ノート)の作り方で、頭と目を鍛えるための本の読み方を解説する。おすすめの本も紹介。
156 NI	対訳武士道	新渡戸稲造 著 山本史郎 訳	朝日新聞出版	世界に誇る、日本のこころ。勇気、礼儀正しさ、?をつかないこと…。新渡戸稲造が英語で著した世界的ベストセラー「武士道」。格調高い英語原文と、「翻訳の授業」の著者・山本史郎東大名誉教授による美しい日本語訳を収録。
190.5 KI	キリスト教年鑑 2021?2022	キリスト教年鑑編集委員会 編集	キリスト新聞社	現代日本のキリスト教界の現状について幅広く網羅した情報を、教会・団体・学園・人名等に分類して掲載。2020年4月?2021年9月の日本のキリスト教界の動向も紹介する。
290 SE	世界なんでもランキング 地球の歩き方的!	地球の歩き方編集室 著	学研プラス(発売)	旅行や地理、経済や文化などあらゆるジャンルから130のランキングを掲載。背景や現状、順位から見えてくる世界各地の意外な習慣やトレンドなども旅人目線で解説する。カラー図版も多数収録。データ2021年4月現在。
290.9 SE	世界のすごい巨像 巨仏・巨神・巨人。一度は訪れたい愛すべき巨大造形を解説	地球の歩き方編集室 編集	学研プラス(発売)	世界のあちこちでさまざまな人々が色々な意図を持って立ち上げてきた、魅力的な巨像たちを紹介。像が立てられたいきさつ、具体的な見学方法、周辺の見どころなどを解説する。折り込みページあり。
290.9 SE	世界197カ国のふしぎな聖地&パワースポット 神秘的な古代遺跡 驚異の大自然 謎の巨石 祈りと奇跡の地		学研プラス(発売)	落ちない金色の巨石(ミャンマー)、宇宙人壁画(アルジェリア)、伝説のアトランティス(ギリシャ)…。世界197カ国の聖地とパワースポットを徹底紹介する。早わかり年表、用語解説等も収録。データ2021年7月現在。
302 IK	なぜ世界を知るべきなのか	池上彰 著	小学館	多様な文化、多様な思考、多様な生き方。日本にだけでは決して持ち得ない視点を持てたら、誰でも必ず成長する。世界を放りてきた池上彰が若者に、コロナ禍で内向き志向になっている今こそ世界に目を向けようと呼ぶ。
302.2 AS	ぼくらはひとつ空の下 シリア内戦最激戦地アレッポの日本語学生たちの1800日	優人(アフマド・アスレ) 著 小澤祥子 取材・文	三元社	今世紀最悪の人道危機にあるシリア。内戦10年、自分の命もいつ絶たれるかわからない日々をなか、彼らはなぜ日本語を学び続けたのか。アレッポの日本語学生たちの1800日の記録。
316.1 SH	従順さのどこがいけないのか	将基面 貴巳 著	筑摩書房	理不尽な出来事に見てみぬふりをしていませんか? 誰かのいうことに従っていても、世の中は解決しない問題だらけ。「政治」という現象を、「服従」「従順さ」や、その反対の「不服従」「抵抗」というキーワードで考えます。
364.3 IK	社会保険労務士になるには	池田直子 著	ペリかん社	「社会保険」「労働保険」のエキスパートとして、働く人と企業の間で活躍する社会保険労務士。その仕事の内容や実情を紹介し、適性や心構え、試験の概要、開業するための方法などをガイドする。
366.2 ES	SDGsでわかる今ない仕事図鑑ハイパー 自分の才能発見ブック	澤井官教 監修 于野力オリ 心理学監修 上村彰子 構成・文 「今ない仕事」取材班 構	講談社	どこでも発電機、サンゴ礁増殖家、3D大工さん…。これからの働き方や、未来に生まれるかもしれない仕事を紹介。新しいチームワークの時代に必要となる自分と仲間の強みを発見する方法も解説する。書き込みシートあり。
368.2 FU	コロナ貧困 絶望的格差社会の襲来	藤田孝典 著	毎日新聞出版	世帯年収1000万の共働き夫婦が大減収で住宅ローン破綻、所持金300円になった32歳ダブルワーカー…。ごく普通の人が、あつげなく最下層に。ソーシャルワーカーがコロナ貧困の惨状を明らかにし、解決策を提示する。
369.1 WA	介護福祉士になるには	渡辺裕美 編著	ペリかん社	利用者の生活や社会への参加を支える介護福祉士。第一線で活躍する人たちの仕事現場を取材するほか、仕事の内容や収入・将来性、<なり方>などをくわしく解説する。「なるには」フローチャートも掲載。
375 KA	100年無敵の勉強法 何のために学ぶのか?	鎌田浩毅 著	筑摩書房	「誰にもじゃまされない人生」をつかむために、「死んだ勉強」を「活きた勉強」に変えて、ステキな自分をプロデュースする戦略を学ぼう。京大人気ナンバーワン教授が、ワクワクする勉強の秘伝を公開する。おすすめの本も紹介。
383.8 FU	食べるとはどういうことか 世界の見方が変わる三つの質問	藤原辰史 著	農山漁村文化協会	「食べること」を考えることで、「人間とはなにか」が見えてくる。先生と中学生による白熱の「食と農の哲学」ゼミナール。2018年3月開催の座談会「藤原辰史先生と語る「食べること」「生きること」」の内容を元に書籍化。
410 TS	カジュアルな算数・数学の話	鶴崎修功 著	クラークラボ	方程式、関数・グラフ、図形、確率…。誰もが知っておくべき中学までの数学を(一部高校数学も)7つの話題に整理して、イッキに身につける入門書。理解を深めて効率的に基礎をえるようになるための学び方も満載。
451.8 ZU	図解でわかる14歳からの脱炭素社会	インフォビジュアル研究所 著	太田出版	CO2を排出し、いつか採り尽くされてしまう化石エネルギーから、持続可能な再生可能エネルギーへ。次世代が生きる「脱炭素社会」の最新常識を、豊富なカラー図版でわかりやすく解説する。
493.8 BO	ぼくらの感染症サバイバル 病に立ち向かった日本人の奮闘記	香西豊子 監修	いろは出版	天然痘、麻疹、コレラ、そして新型コロナ。古代・中世から現代まで、日本人は感染症とどう向き合い、どう乗り越えてきたのかを、マンガや文章でわかりやすく解説します。感染症事典、感染症歴史人物事典なども収録。
611.3 ID	SDGs時代の食べ方 世界が飢えるのはなぜ?	井出留美 著	筑摩書房	食品ロスが深刻な日本。捨てられる食材の量は国連の飢餓国支援の1.4倍。この状況を変えるにはどうすれば良いのか。SDGs時代にふさわしい食べ方を考える。『エンガールはおいしい!』連載を加筆し書籍化。
810.7 MA	日本語教師になるには	益田美樹 著	ペリかん社	日本で暮らす外国人や留学生、海外の学習者などに日本語を教え、日本の社会・文化を伝える日本語教師。世界をつなぐ日本語教師の仕事の実際、収入、<なり方>などをくわしく解説する。「なるには」フローチャートも掲載。
813.7 AS	朝日キーワード 2023	朝日新聞出版 編	朝日新聞出版	幅広いジャンルから現代社会を知るために必須の「キーワード」を厳選した現代用語集。朝日新聞の第一線記者らが豊富な写真や図表とともにニュースの本質をわかりやすく解説する。巻末に重要ニュース月表なども収録。
913.6 AO	赤と青とエスキース	青山美智子 著	PHP研究所	メルボルンの若手画家が描いた一枚の「エスキース(絵画)」。日本へ渡って30数年、その絵画は「ふたりの間に奇跡を紡いでいき…。仕掛けに満ちた書き下ろし連作短編集。
913.6 AS	母の待つ里	浅田次郎 著	新潮社	家庭も故郷もない還暦世代の3人の男女の元に舞い込んだ<理想のふるさと>への招待。奇妙だけれど魅力的な誘いに半信半疑で向かった先には、かけがえのない<母>との出会いが待っていて…。『小説新潮』連載を書籍化。

913.6	CH	真夜中のマリオネット	知念 実希人 著	集英社	「真夜中の解体魔」に婚約者を殺された救急医の秋穂は、交通事故で重傷を負った「真夜中の解体魔」らしき少年・涼介を助ける。だが彼に無実と思える証拠を見せられ、ともに真犯人を探すことに…。
913.6	HA	夏休みルーム	はやみねかおる 著、しみみ 画	朝日新聞出版	進学塾の特別クラスに通う「ぼく」たちは、受験前の最後の夏をSNSの仮想空間「夏休みルーム」で過ごすことに。だが、楽しいはずのルームで、誰かがぼくを殺そうとしている。犯人は特別クラスのメンバー？ それとも…。
913.6	HA	奇譚ルーム	はやみねかおる 著	朝日新聞出版	10人のゲストが奇譚を語りあうために集まったSNSの仮想空間「奇譚ルーム」。突然、発言主不明のふきだしが現れる。「わたしは殺人者。これからきみたちをひとりずつ殺していくのだよ…」殺人者とはいったい誰なのか？
913.6	HA	滅私	羽田 圭介 著	新潮社	必要最低限の物だけで生活するミニマリストの男。物欲から解放され自由を得たはずが、なお因果は尽きず…。ミニマリズムの果てに待ち受けるのは？ SDGsの現代を描く悲喜劇。『新潮』掲載を単行本化。
913.6	KU	#マイネーム	黒川 裕子 作	さ・え・ら書房	両親の離婚で名字が変わった明音は、SNSで地元中学生限定のスレッドく自分の名前がきらいなやつ集まれ #マイネーム)に出会う。スレッド主が自分の呼ばれていた名前を名刺をつけようと呼びかけると、明音たちは熱狂して…。
913.6	OD	残月記	小田 雅久仁 著	双葉社	近未来の日本、人々を震撼させている感染症「月昇」に冒された若者。カリスマ暴君の歪んだ願望に運命を翻弄されながら、愛する女のために抗い続け…。表題作はじめ全3編を収録。『小説推理』掲載を書籍化。
913.6	OK	クレイジー・フォー・ラビット	奥田 亜希子 著	朝日新聞出版	私たちは何度だって出会い直せる。何度だって友達になれる…。?や秘密を敏感に嗅ぎ取ってしまう愛衣の5つの年代と、ままならない友情を描いた連作短編集。『小説トリッパー』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。
913.6	SU	ブラックボックス	砂川 文次/著	講談社	ずっと遠くにきたかった。今も行きたいと思っている。自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。自転車便のメッセンジャー、サクマは都内を今日もひた走る。『群像』掲載を単行本化。
913.6	TS	つまらない住宅地のすべての家	津村 記久子 著	双葉社	静かに並ぶ住宅地の家々。ある出来事をきっかけに、それぞれの家の、それぞれの事情が見えてきて…。日々いろいろな思いを抱えて暮らす人々を、たくみな構成と描写で浮き彫りにした長編小説。『小説推理』連載を単行本化。
913.6	YA	徳川家康 1 出生乱離の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	竹千代(家康)が生まれた年、信玄は22歳、謙信は13歳、信長は9歳であった。動乱期の英傑が天下制覇の夢を抱くさなかの誕生。それは弱小松平党にとっては希望の星であった——剛毅と智謀を兼ね備えて泰平の世を拓いた家康の生涯を描いて、現代人の心に永遠の感動を刻む世紀の大河ドラマ発端篇!
913.6	YA	徳川家康 2 獅子の座の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	幼くして母との離別。そして今川家への人質。さらに父広忠の非業の死。乱世の嵐は容赦なく竹千代を翻弄する。しかし、思いがけず宿敵織田方の手に落ちた運命のいたずらで、竹千代は生涯の盟友となる信長と相まみえた。新しい時代の幕開け——この出会いには確かに歴史の流れの岐路があった……。
913.6	YA	徳川家康 3 朝露の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	駿府の人質となっている三河の竹千代は、元服して松平次郎三郎元信と名乗った。やがて恋が芽ばえ、今川義元の姪瀬名姫と結婚、名も元康と改める。だがこの結婚、元康生涯の幸せを約束するものであったか?永禄3年(1560)5月、義元上洛戦を開始。運命の桶狭間に向かって戦雲はなびく。
913.6	YA	徳川家康 4 葦かびの巻	山岡 荘八 [著]	講談社	今川義元の死は元康の運命を大きく変えた。敗戦にまぎれ岡崎へ帰城、独立の第一歩がいま踏み出されたのだ。信長との同盟もなり、徳川家康と改名、今川の旧領を掌握して勢力を上げたが、それは妻瀬名姫のはげしい反感と憎悪を買った。矛盾を内にはらんだまま、家康の東海制覇は着々とすすんでいく。
913.6	YA	徳川家康 5 うず潮の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	元龜3年(1570)、武田信玄がついに上洛戦の火蓋を切った。天下布武を豪語する信長と呼びかけた家康は、武田軍を捨て身で三方ヶ原に迎え撃つ。この乾坤一擲(けんこんいつてき)の家康の雄図をあざむかうかのように、銃後では妻築山殿(瀬名)と、家臣大賀弥四郎の裏切りの震が、ひそやかにかけられつつあった…。
913.6	YA	徳川家康 6 燃える土の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	信玄陣没の風聞に接した家康は、武田勝頼の機先を制して長篠城を手中に取めた。同じ日、越前では信長が朝倉義景の首を突検していた。戦乱の猛火はますます拡大しつつある。一方、女の世界では、愛妾お愛の方とお万の方の母性の熾(ほむら)が、築山殿の嫉心の妖火が、戦国女性の愛憎の炎となって燃えさか…。
913.6	YA	徳川家康 7 颯風の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	長篠の役は織田・徳川連合軍の圧勝に終わり、武田騎馬軍団は潰滅した。この戦いで、日本の戦術を一変させた信長の武名は天下に轟き、家康も日増しに貴賤を加えた。しかし戦国の世は甘くない。信長の疑惑をこうむった家康は嫡子信康を切腹させ、正妻築山殿を斬らねばならなかった。哀しきかな戦国!
913.6	YA	徳川家康 8 心火の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	武田勝頼を甲斐天目山にほふった信長は、中国攻略中の秀吉の援軍にみずから出馬する。順風満帆、威風堂々、だがその目前に本能寺の嵐が待ち受けている。明智光秀の叛逆!盟友の死は、泉州堺に遊んでいた家康にも最悪のピンチ襲来だ。家康は日に夜をついでたひたすら、三河への脱出をはかる。
913.6	YA	徳川家康 9 碧雲の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	光秀を討って主君の仇を報じた秀吉はその手柄を盾として、天下取りへの活動を開始した。最大の敵・柴田勝家を倒すにおよんで、もはや天下に敵なし、と見えた。しかし、武田の旧臣をことごとく隨身させて、着々と勢力を伸ばしつつある男がいた。それは、むろん家康。両雄の確執は日に日につるばかり。
913.6	YA	徳川家康 10 無相門の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	小牧・長久手の地に、秀吉と家康は宿命の対陣に入った。両者智略を尽したかけ引きの末の和睦の条件は、家康の次男を秀吉の養子とすることだった。戦いには勝っていると思える三河武士団は血涙を噴騰させた。養子とは、すなわち人質にほかならない。しかし家康は、ざりりとならぬ堪忍の緒を締めてゆく。
913.6	YA	徳川家康 11 竜虎の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	天下統一のためには家康に臣下の礼をとらせなければならない。肉親家臣の犠牲もやむをえない。秀吉の政略は青白い陰火の相をおひはじめた。佐治秀正との愛の巢を無残に裂かれた朝日姫の悲劇、秀正の憤死。一方、家康への忠誠ゆえに出奔しなければならない石川数正の慟哭。戦国非情の風は止む間もない。
913.6	YA	徳川家康 12 華蔽の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	秀吉の妹朝日姫を正室に迎えたうえ、生母大政所(おおまんごころ)を人質同然に差し出されては、家康も上洛を拒み通すことはできない。竜虎の提携は成立した。秀吉は勇躍して九州征伐に向かい、家康は東国経営に乗り出す。待望の泰平の到来か。いや、今度は正室寧々と愛妾茶々の間で、激しい女の闘いがはじまっていた。
913.6	YA	徳川家康 13 侘茶の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	九州征伐に成功し、北野の大茶会で威を天下に示した秀吉は、小田原の北条氏攻めに着手、家康は先鋒を命じられた。同時に関東への転封を強いられ、家臣団は激怒する。怒りは家康にもある。しかし涙をのんで江戸へ移った。まさに闇白秀吉の世、絢爛と桃山文化の花は咲き誇り、衰えを知らぬかに見えた…。
913.6	YA	徳川家康 14 明星またたくの巻	山岡 荘八 [著]	講談社	順風満帆の晩年を迎えた秀吉には、千利休の生命を賭した抵抗は大きな驚きであった。そこへ弟秀長(秀吉)の死。秀吉の理性は大波に揺らぐ小舟と化した。彼は利休に切腹を命じ、ついで生涯の業績をまっ黒に塗りつぶす朝鮮出兵の暴挙に出た。家康にとって、秀吉のこの老醜の日日は、他山の石とすべき教訓であった。

913.6	YA	徳川家康 15 難波の夢の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	秀頼の誕生は新たな権力争いの種となり、関白秀次の自刃とその妻妾30余人の斬殺という悲劇を招いた。一方、伏見大地震の混乱の中で迎えた明の講和使節が、実は無礼きわまる冊封使だとわかると、秀吉は烈火のごとく怒り朝鮮再征の令を下す。そして、再征の結着もみないまま一代の太陽児は波乱の生涯を閉じる。
913.6	YA	徳川家康 16 日蝕月蝕の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	太閤秀吉の死後には難題が山積していた。朝鮮からの撤兵用船舶の不足、日ましにつる武断派武將と文治派史將の対立、そして秀頼の母公淀君の頑迷と我執……。秀吉に後事を托された家康の使命は重い。と、そこに降ってわく“家康に異心あり!”の噂。はたして噂を流す石田三成の敵意はなにゆえか?
913.6	YA	徳川家康 17 軍荼利の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	石田三成の家康に対する敵意はますますつった。だが皮肉にも彼は、秀吉子飼いの七將の襲撃を避けるため家康の庇護を受ける羽目に。いったん三成を近江へ帰した家康は、上杉討伐を名目に出兵を決行。と、その留守を狙って三成挙兵、家康はただちに軍を西へ返す。関ヶ原前夜、虚々実々の駆け引きが続く!
913.6	YA	徳川家康 18 関ヶ原の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	慶長5年9月15日、運命の関ヶ原で戦いの火ぶたは切られた。東軍7万5千対西軍10万8千。世にいう天下分け目の合戦である。しかし、歴史のめざす方向は、すでにその前から定まっていたのかもしれない。戦は東軍のあつけない大勝利に終り、三成は京の六条河原の露と消えた。新時代の幕明けである……。
913.6	YA	徳川家康 19 泰平胎動の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	慶長8年2月、家康は征夷大將軍に就任し、いよいよ天下人として、理想の国家づくりに着手した。徳川・豊臣両家の和合のため、孫の千姫を秀頼に嫁がせ、「斬り取り勝手の」戦国の常識を根底から改革しようとする。しかし淀君をはじめとする反徳川の執念は根深く、泰平の道はいまだ遠し……である。
913.6	YA	徳川家康 20 江戸・大坂の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	江戸に幕府を開いた家康の封建政治はようやく人々の理解を得て根づくかに見えた。日本は世界一の進歩国家として世界に知られ、国内では秀忠に嫡子竹千代が生まれて徳川の基本も固まった、と思われた。が、次期政權を望む淀君と秀頼にとっては竹千代出生は大きな不安の種となり、再び乱世のきざしが……。
913.6	YA	徳川家康 21 春雷遠雷の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	着々と国内統治を進める一方で、家康は海外貿易に情熱を見せる。と、ここにもまた1つの矛盾が生じた。紅毛人对南蛮人の確執。それは世界の海に野望を燃やす大久保長安の奇怪な夢を振り、伊達政宗、松平忠輝をもふしぎな野心の渦に巻きこんだ。さらに切支丹勢力の画策!家康の理想は危機に瀕する。
913.6	YA	徳川家康 22 百雷落つるの巻	山岡 荘八 [著]	講談社	大久保長安の“貿易日本”建設の野心は、松平忠輝と伊達政宗の心を大きく揺さぶった。しかし野心は時として無謀を呼ぶ。はたして長安の動きは、旧教宣教師や関ヶ原半人の、徳川覆滅の夢を煽る導火線となった。大坂へ大坂へ……と、諸国の半人の激情が集約されてゆく。“大坂の陣”はすでにその兆しを見せた!
913.6	YA	徳川家康 23 蕭風城の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	大久保長安の遺した不思議な連判状は何を意味するのか、やはり大坂は討たねばならないのか。しかし家康の願いは豊臣家存続にある。そのためには戦(いくさ)の回避と大坂開城が必要絶対条件だった。家康と片桐且元(かつもと)の和平交渉が始まる。家康は方広寺の鐘銘事件に名をかりて、淀君、秀頼母子に、大坂城無血明け渡しをかけた。だが……。
913.6	YA	徳川家康 24 戦争と平和の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	大坂冬の陣!籠城を決定した大坂方は河内出口村の堤を破壊し、枚方(ひらかた)付近の道を閉ざした。しかし家康は容易に二条城を動かさず、東海道を大軍で西上する秀忠にも、「急ぐな」との命を発する。はたして家康は、胸中に何を秘めているのか?紆余曲折ののち和議成立。が、それも東の間、時の勢いは夏の陣へ……。
913.6	YA	徳川家康 25 孤城落月の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	大坂夏の陣!濠を埋められ、籠城できなくなった大坂方は城外に打って出た。名ある猛将も相次いで倒れ、太閤以来の名城も紅蓮の焔に包まれる。そして、家康の最後の悲願!淀君・秀頼母子の救出も水泡に帰した。やんぬるかな、秀頼母子ご自害!こうして豊臣家は地上から永遠に消え去った。
913.6	YA	徳川家康 26 立命往生の巻	山岡 荘八 [著]	講談社	豊臣家滅亡後の家康に残された仕事は幕府永続の礎石固め、すなわち確乎とした泰平の世づくりであった。「人間はみな永遠に続く大樹の枝葉なのだ」という万民の愛と安らぎをめざす世を!その理想を果たし、巨樹はついに波乱にみちた75年の生涯を終える。時代を超えて生きる壮大なロマン完結編。
943.6	GR	夜ふけに読みたい植物たちのグリム童話	グリム兄弟 著 井口 富美子 監訳 吉澤 康子 編訳 和森 桃子 編訳	平凡社	夜ふけにぴったりの、声に出しても楽しい植物が出てくるグリム童話を、イギリスの人気挿絵画家アーサー・ラッカムの絵をふんだんに盛り込んで紹介。「白雪姫」「ラプンツェル」など全22話を収録する。
949.3	PE	どんぐり喰い	エルス・ペルフロム 作 野坂 悦子 訳	福音館書店	内戦終結から間もないスペイン・アンダルシア地方。少年クロは貧しい家計を助けるため、学校をやめて働きに出る。人々は貧しさや社会の不条理に耐えながらも誇り高く生きぬき、クロもまた、たくましく成長していく。